

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	教育ネットワーク推進事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	教育総務課							
	事業期間	平成17年度			～	平成30年度以降		担当係	施設係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		12 学校教育		1 安全で快適な教育環境を整備します									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	1		目	2		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	教育委員会にセンターサーバーを備え、市内小中学校25校と3給食センターを光回線で結びネットワークを構築し、ネットワーク内での情報共有や高速通信など事務の電子化を推進し、外部からの不正アクセスや攻撃から守る。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 平成25年度においては、センターサーバ、コンピュータ等のリースを行うとともに、ネットワーク及びコンピュータのサポートを委託し、安定的な教育ネットワークの運営・管理を行った。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 電子計算機借上料 15,079,463円 コンピュータサポート委託料 2,944,550円 その他 2,201,178円</p> <p>○平成26年度においても、平成25年度に引き続き同様のリース、委託を行う。</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 電子計算機借上料 18,153,000円 コンピュータサポート委託料 3,700,000円 その他 2,313,000円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費		千円	19,229	24,602	20,225	24,166
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	19,755	25,128	20,751	24,692
対前年比		%		127.1	82.5	118.9		
財源	一般財源		千円	19,755	25,128	20,751	24,692	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	事務局内のPCの整備 (リース)台数	台	目標	16	16	18
実績				16	16	18	
	センターサーバー	式	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標				
	教育ネットワークを結ん でいる施設	施設	目標	29	29	32	32
			実績	29	29	32	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	センターサーバ、コンピュータ等のリースを行うとともに、ネットワーク及びコンピュータのサポートを委託し、安定的な教育ネットワークの運営・管理を行った。				
		事業実施における課題	より安全にかつ快適なネットワーク環境となるようにしていくことと、かかるコストの面から、例えば市のネットワークと一元化する検討を行う。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	教育委員会事務局と小・中学校25校、3給食センターをネットワーク化しているが、ネットワーク内での情報共有や事務の電子利用ができなくなるため、紙媒体による文書事務等に時間がかかる。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	教育ネットワークと情報システム課が所管している市のグループウェアのネットワークとの一元化を検討したが、運用管理の面において共用できる部分が少ないことやコストの面からも一元化は困難と判断し、教育ネットワークは今後も単独のネットワーク環境を維持していく方向とした。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	教育委員会において教育ネットワーク環境は、より良い環境について常に検討していくことは必要としても必須の環境である。					
	27年度以降の改善案	ネットワークの環境整備について、多額のコストに係る機器の更新について、必要な機能を備えかつできる限り低コストになるよう検討し総合的に判断して機器等の見直しをする。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。